【資料]]

インターネット経由の「ネット認証」方式のご案内

構造システムでは、スタンドアロン版ライセンス認証方式をインターネット経由でライセンス認証用キー(以下、認証キー)を取得する「ネット認証」と呼ぶ方式に2015年度内に移行の予定です。スタンドアロン版からの「ネット認証」への移行にあたり費用は発生いたしません*1。

「ネット認証」は、概念図のように、通常は構造システムのライセンス管理サーバー側で認証キーをお預かりしています。必要なときにお客様のパソコンからインターネット経由でライセンス管理サーバーの認証キーを瞬時に取得することができます。公衆無線LAN環境、ポケットWi-Fi、スマートフォンのテザリング機能などを利用すれば、場所を選ばずにソフトウェアを利用できます**2*3。

また、取得した認証キーは一定期間パソコンに保持することも、使用後に返却することも自由にできます。取得した認証キーをパソコンに保持する場合は、最大90日間オフライン環境でソフトウェアを使用できます。社内だけでなく社外でのソフトウェア使用も可能です。



ご不明な点につきましては、構造システム・グループ オンラインサポートセンターから「ネット認証」 関連のQ&Aをご覧ください。

構造システム・グループ オンラインサポートセンター URL http://support.kozo.co.jp/support/

- ※1. ネットワーク版からネット認証、ネット認証からネットワーク版への移行は有償となります。
- ※2. インターネット接続ができない場合は、販売店または営業にお問い合わせください。
- ※3. ネット認証は仮想化環境では利用できません。

【資料2】 2015/9

ネット認証移行製品一覧と対応予定時期

構造システム製品(スタンドアロン版)のネット認証移行対象製品と対応予定時期は別表1のとおりです。別表1のバージョン番号またはデータベース番号より以前の製品は対象外となります。詳しくはお問い合わせください。対応予定時期は製品の開発状況により前後する場合があります。

別表1 構造システム製品のネット認証移行製品と対応予定時期

製品名	バージョン番号* 1	対応予定時期
BUS-5	Ver.1.1*3	
BUS-COST	Ver.2.0*3	2015年10月
BUS-基礎構造	Ver.4.0*3	
	Ver.5.0*2*3	
DOC-RC/SRC	Ver.8.1*3	
DOC-S	Ver.2.0*3	
DOC-3次診断	Ver.4.1*3	
SNAP	Ver.7*4	0015年11日
SNAP-GP	Ver.2.5*5	2015年11月
FEM-2D	Ver.2*4	- 2015年12月
KT-SUB	Ver.2	
KT-基礎	Ver. 1	
BUS-断面リスト	Ver. 1	
SNAP-WAVE	Ver. 1	2016年1月
WALL-1	Ver. 1	
HOUSE-4号	Ver. 1	
HOUSE-WL	Ver.2	2016年2月
HOUSE-DOC	Ver.3	
RTW	Ver.2	
FAP-3	Ver.5	2016年3月
MED-3	Ver.3	2010牛3月

^{※ 1.} バージョン番号、データベース番号は、各製品のプルダウンメニューから [ヘルプ] → [バージョン情報] を選択して表示されるダイアログをご確認ください。

^{※2.2015}年10月に有償バージョンアップします。

^{※3.} BUSシリーズ、DOCシリーズはDB6.7.0.0以降が移行対象となります。

^{※4.} 表記のバージョン番号への有償バージョンアップ後よりネット認証対応となります。

^{※5.} 表記のバージョン番号への無償バージョンアップ後よりネット認証対応となります。

スタンドアロン版(HASP)からネット認証版への移行手順

ハードプロテクト(HASP)により認証を行うスタンドアロン版からネット認証へ移行を行う手順についてご説明します。

ご注意

ネットワーク版、kozoStation版では移行作業は不要です。 ネット認証への移行作業時にインターネット接続環境が必要です。

1. ネット認証移行ツールのダウンロード

手順(1)

「ネット認証移行ツール」を下記URL、または構造システム各製品の [ヘルプ] メニューの [ネット認証移行ツールのダウンロード] メニューからダウンロードすることができます。

URL http://www.kozo.co.jp/netlicense/gms/kozogms.zip

手順(2)

ダウンロードした「kozogms.zip」ファイルを開いて解凍します。解凍フォルダに「ネット認証 移行ツール | GMS.EXEファイルが展開されます。

2. ネット認証への移行手順

手順(1)

スタンドアロン版で使用しているネット認証移行製品(【資料2】「別表 1」参照)のハードプロテクト(以下、HASP)のいずれかひとつだけをパソコン(以下、PC)本体に接続します。

手順(2)

上記「1. ネット認証移行ツールのダウンロード」の「GMS.EXE」を開きます。 (GMS.EXEをダブルクリックして開くこともできます。)

手順(3)

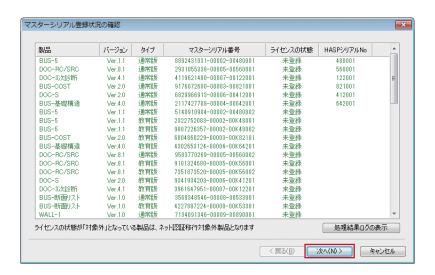
「ネット認証移行ツール」の開始メッセージが表示されます。移行作業を行う場合は [はい] ボタンを選択してください。



手順(4)

HASPの情報からお客様がネット認証へ移行可能な製品とマスターシリアル番号(別表2)の一覧が表示されます。

ライセンスの状態が「未登録」のものがあるときは [次へ] ボタンをクリックしてください。 全ての製品のライセンスの状態が「登録済」 の場合は作業の必要がありませんので [終了] ボタン をクリックして終了してください。



一覧表示の項目説明

【製品】ネット認証対応製品

【バージョン】ネット認証対応製品バージョン番号

【タイプ】通常版、教育版、スクール版、確認審査版などの製品タイプ

【マスターシリアル番号】ネット認証用のシリアル番号

【ライセンスの状態】未登録=ネット認証ライセンス利用不可(移行ツールでの登録必要)

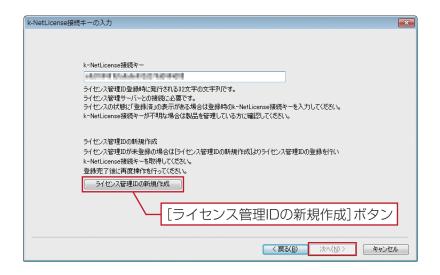
登録済=ネット認証ライセンス利用可能

【HASPシリアルNo.】マスターシリアル番号に対応するHASPシリアルNo.

手順(5)

k-NetLicense接続キー(別表2)の入力画面が表示されます。

一覧に表示されたマスターシリアル番号をライセンス管理ID(別表2)に登録します。この手順に沿って登録行うと複数のマスターシリアル番号はひとつのライセンス管理IDで一元管理されます。



ライセンス管理IDへの登録にはk-NetLicense接続キーが必要です。

- ① 「k-NetLicense接続キー」欄にk-NetLicense接続キーが表示される場合 そのままのk-NetLicense接続キーをご使用ください。 [次へ] ボタンをクリックして手順(13)へ進んでください。
- ② 「k-NetLicense接続キー」 欄にk-NetLicense接続キーが表示されない場合 (手順(4)のライセンスの状態にひとつ以上の「登録済」がある場合)

既に他の構造システム製品によりネット認証がご利用できる状態です。

その製品のk-NetLicense接続キーを入力後に[次へ] ボタンをクリックして手順(13)へ進んでください。

k-NetLicense接続キーが不明な場合は製品を管理されている担当者様にご相談ください。

③ 「k-NetLicense接続キー」をお持ちでない場合(手順(4)のライセンス状態が全て「未登録」の場合)

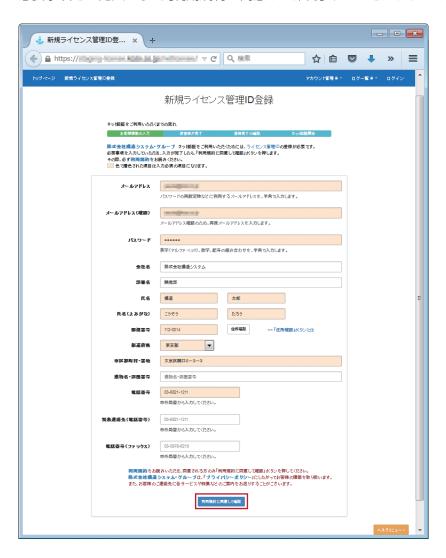
ライセンス管理IDの新規作成が必要です。

ライセンス管理IDの新規作成とk-NetLicense接続キーの取得を行ってください。

[ライセンス管理IDの新規作成] ボタンをクリックして、を行う場合は手順(6)へ進んでください。

手順(6)

ライセンス管理ページ(別表2)の新規ライセンス管理ID登録画面が開きます。 必要事項をご記入のうえ [利用規約に同意して確認] ボタンをクリックします。



手順(7)

確認画面が表示されます。内容を確認後[仮登録]ボタンをクリックします。



手順(8)

登録したメールアドレスに仮登録のお申込み受付の確認メールが配信されます。



手順(9)

受信した受付の確認メール本文のURLをクリックして仮登録から本登録とします。



手順(10)

新規ライセンス管理ID登録完了の確認ページが開きます。 ここで[登録を完了する]ボタンをクリックします。 後程、登録の完了メールが配信されます。

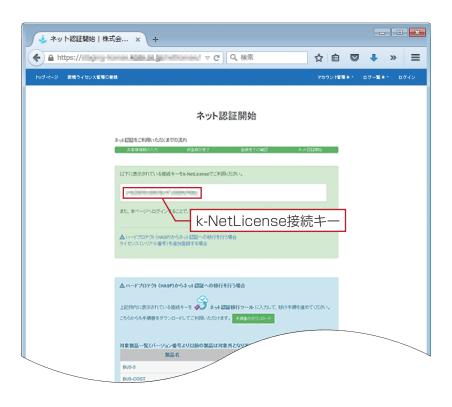


手順(11)

ネット認証開始ページが開きます。

中央に表示される文字列が「k-NetLicense接続キー」となります。

ネット認証で使用する大切なキーとなります。忘れないように記録してください。



手順(12)

上記ページの「k-NetLicense接続キー」に表示される文字列をコピーして、画面(手順(5)と同じ)のネット認証移行ツールのk-NetLicense接続キー欄へ貼り付けしてください。

[次へ]ボタンをクリックしてください。

手順(11)のブラウザを閉じてください。



※ネット認証移行ツールが終了されているときは手順(1)から(5)までの操作を再度行ってください。

手順(13)

マスターシリアル番号の登録確認メッセージが表示されます。 [はい] ボタンをクリックすると登録を開始します。



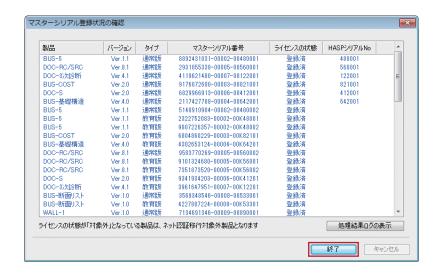
手順(14)

登録結果がメッセージに表示されます。



手順(15)

登録結果の一覧が表示されます。ライセンスの状態が「登録済」の製品はネット認証ライセンス が利用できます。これで移行作業は終了です。[終了] ボタンをクリックしてください。



※ライセンスの状態が「問合せ」と表示される場合は弊社サポートまでお問い合わせください。

3. ネット認証版の起動手順(BUS-5の例)

手順(1)

スタートメニューからつぎのメニューを選択して「動作設定」を開きます。

・Windows 7の場合

 $[スタート] \rightarrow [すべてのプログラム] \rightarrow [BUS-5 Series Ver. 1.1] \rightarrow [ツール] \rightarrow [BUS-5 Series動作設定]$

・Windows 8/8.1の場合

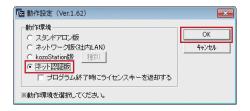
[スタート]→[アプリ]→[BUS-5 Series Ver.1.1]→[BUS-5 Series動作設定]

·Windows 10の場合

[スタート]→[すべてのアプリ]→[BUS-5 Series Ver.1.1]→[BUS-5 Series動作設定]

動作設定ダイアログで動作環境を「ネット認証版」に設定して [OK] ボタンをクリックします。 BUS-5終了時にライセンスキーを自動返却する場合は「プログラム終了時にライセンスキーを 返却する」のチェックをオン(チェックを付けた状態)にしてください。

ネット認証への移行期間中(ネット認証版対応開始から6か月間)はハードプロテクトを使用する「スタンドアロン版」の指定が可能です。ネット認証に問題が発生した場合はスタンドアロン版に変更して作業を行うことができます。



手順(2)

「BUS-5」を起動します。

手順(3)

ネット認証版で起動したときにつぎのメッセージが表示される場合があります。



ネット認証移行が終了していない場合があります。BUS-5の起動を中断して「スタンドアロン版(HASP)からネット認証版への移行手順」をご参照のうえ操作をお願いします。

既にネット認証移行が終了している場合は「ネット認証移行作業済み」のチェックをオンにしてから[いいえ] ボタンをクリックしてください。

手順(4)

ネット認証ライセンスキーがPCに無い場合、「k-NetLicense」(別表2)の起動メッセージが表示されます。[はい] ボタンをクリックしてk-NetLicenseを起動します。



手順(5)

k-NetLicenseから[ライセンスの取得・返却]ボタンをクリックします。

k-NetLicense接続キーが表示されない場合は入力が必要です。



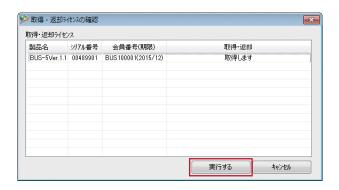
手順(6)

ライセンスの取得・返却が表示されます。使用したいライセンスのチェックをオンにして[ライセンスの取得・返却] ボタンをクリックしてください。



手順(7)

取得・返却ライセンスの確認が表示されます。表示内のライセンスを取得する場合は[実行する] ボタンをクリックしてください。



手順(8)

ライセンスの取得に成功すると取得したライセンスの表示色が青文字に変わり、ライセンス保持 期間、会員番号などの表示が追加されます。

[閉じる] ボタンをクリックします。



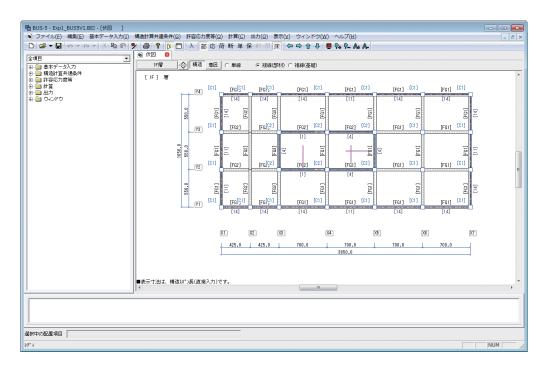
手順(9)

k-NetLicense起動画面に戻ります。[終了] ボタンをクリックしてk-NetLicenseを終了します。



手順(10)

BUS-5ネット認証版が起動します。



別表2 ネット認証の用語

No.	用語	説明	
1	マスターシリアル番号	ネット認証で使用する23桁のシリアル番号です。 問い合わせ時はZZZZZZZZの番号をお知らせください。 書式:XXXXXXXXXXYYYYYY-ZZZZZZZZ	
2	ライセンス管理ID	マスターシリアル番号を管理する単位です。 ひとつのIDで複数のマスターシリアル番号を管理できます。 ※ライセンス管理IDは複数作成することもできますが、ライセン ス管理IDの統合は有償扱いとなります。	
3	k-NetLicense接続キー	ライセンス管理IDからネット認証ライセンスキーを取得する場合 に必要です。 ライセンス管理ページのメニューから確認、発行ができます。	
4	ライセンス管理ページ	ライセンス管理IDまたは登録時のメールアドレスでログインする ライセンスに関する管理用ページです。 ライセンスの利用者の確認、利用時間などライセンス利用状況の 確認も行えます。	
5	k-NetLicense	ライセンス管理IDに関連付けられたライセンスの取得・返却を管理するツールです。 ネット認証対応製品から起動でき、接続キーによりライセンス管理サーバーと通信を行いライセンスキーの取得・返却を行います。	

● 記載内容は2015年9月現在のものです。本紙に記載された内容は予告なく変更されることがありますが、ご了承ください。